



# Press Release

令和4年7月29日

発表事項

## 宮崎県の小売物価統計調査（構造編）－令和3年分結果－

宮崎県は、4年連続で物価水準が全国で最も低くなっている。

小売物価統計調査は、地域別や店舗の形態別の価格の違いといった物価構造の把握を可能とするよう、平成25年1月から「構造編」として調査内容が拡充されました。これにより、都道府県別の物価水準や都市別（宮崎市）の店舗形態の違いによる価格差が明らかになりました。

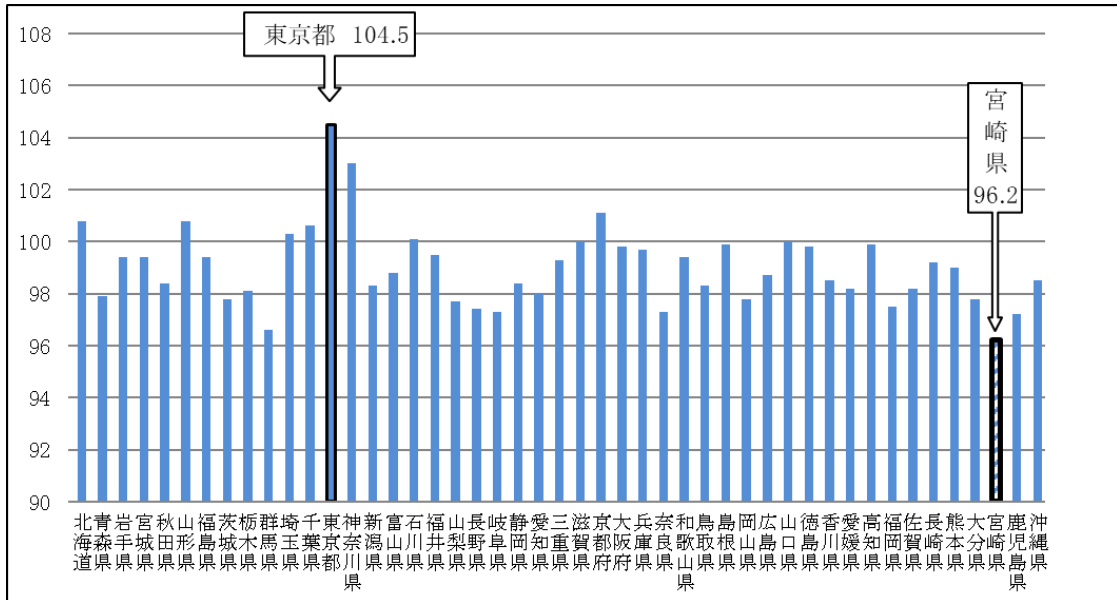
### 1 消費者物価地域差指数

#### (1) 都道府県別の物価水準

宮崎県の令和3年平均消費者物価地域差指数（全国平均=100）の「総合」は**96.2**となり、**47都道府県で、物価水準が最も低く**なっています。

なお、最も高いのは、東京都の104.5で、宮崎県と比べ8.6%高くなっています。

都道府県別消費者物価地域差指数（総合）



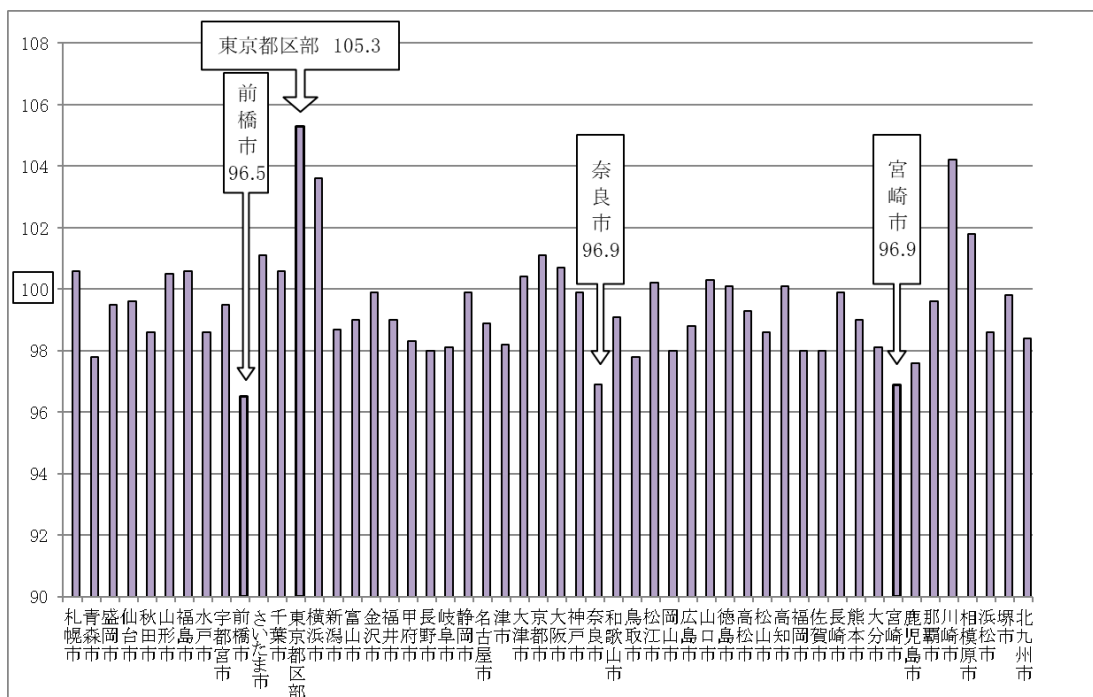
#### ◆消費者物価地域差指数について◆

消費者物価地域差指数とは、地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したものです。

(2) 都市別<sup>(註)</sup>の物価水準

宮崎市の令和3年消費者物価地域差指数は96.9となり、前橋市(96.5)について奈良市と共に全国で2番目に物価水準が低くなっている。

都市別消費者物価地域差指数(総合)



(注) 都道府県庁所在市(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市)

2 店舗形態の違いによる価格差(宮崎市)

(1) スーパーと一般小売店の比較(4品目調査<sup>(註1)</sup>)

・うるち米、コロッケ及び清酒はスーパーの価格が安く、豚肉は一般小売店の価格が安くなっています。

(2) スーパーと量販専門店の比較(5品目調査<sup>(註2)</sup>)

・ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤及び整髪料はスーパーの価格が安く、生理用ナプキンは量販専門店の価格が安くなっています。

(注1) うるち米、豚肉、コロッケ、清酒

(注2) ラップ、洗濯用洗剤、ドリンク剤、生理用ナプキン、整髪料

(用語の説明)

スーパー : 食品・日用品を中心にセルフサービス方式で販売している店舗

一般小売店 : いわゆる米穀店、精肉店、惣菜店、酒飯店など

量販専門店 : 日用品を販売するいわゆるドラッグストアやホームセンターなど

詳細については、別添資料のとおり。

全国の小売物価統計調査(構造編)令和3年分結果は総務省ホームページを御覧ください。

→[https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g\\_2021.pdf](https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/pdf/g_2021.pdf)

主管課

総合政策部 統計調査課 生活統計担当 田島、田中 内線(2269) 直通 26-7043